

鳥取県の経済動向

- **需要面**では、大型小売店販売額、ホームセンター・家電量販店販売額とも前年を下回った。（1月）
乗用車新車新規登録台数、新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額、公共工事請負金額は前年を上回った。（2月）
- **産業面**では、鉱工業生産指数（季節調整済）が電気機械工業等の減により前月を下回った。（1月）
- **雇用面**では、現金給与総額、所定外労働時間とも前年を下回った。（1月）
求人倍率は、新規が前月を上回り、有効は前月を下回った。（2月）

○ 需要面の動き

【個人消費】

大型小売店販売額（1月）は、全店舗計では64億7,731万円となり、前年同月比6.2%減と6か月続いて減少し、店舗調整後でも前年同月比4.6%減（全国2.5%減）と40か月連続して減少している。なお、全店舗計の内訳では、百貨店が25億5,165万円（前年同月比2.9%増）、スーパーが39億2,566万円（前年同月比9.0%減）であった。

ホームセンター・家電量販店販売額（1月）は、ホームセンター販売額が15億3,285万円（前年同月比8.9%減）と2か月ぶりに前年を下回り、家電量販店販売額も14億704万円（前年同月比7.0%減）と2か月ぶりに前年を下回った。

乗用車新車新規登録台数（2月）は、2,364台（前年同月比8.9%増）と4か月ぶりに前年を上回った。

【住宅建設】

新設住宅着工戸数（2月）は、376戸（前年同月比15.0%増）と2か月ぶりに前年を上回った。増加の内訳では、給与住宅の増加（55戸増）が大きかった。

【設備投資】

用途別着工建築物工事金額（2月）は、44億6,160万円（前年同月比205.4%増）と2か月ぶりに前年を上回った。用途別では、鉱工業用（1179.8%増）、商業用（20.8%増）が前年を上回った。

【公共工事】

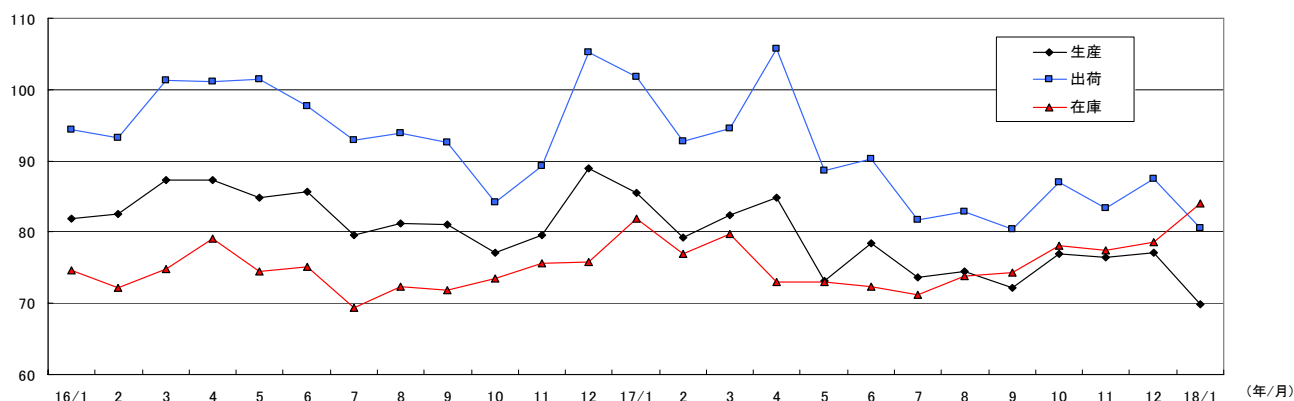
公共工事請負金額（2月）は、60億6,400万円（前年同月比6.5%増）と2か月続いて前年を上回った。発注者別内訳では、国の増（前年同月比425.5%増）が大きな割合を占めた。

○ 産業面の動き

【産業活動】

鉱工業指数（1月）は、生産指数（季節調整済）が69.9となり前月比9.3%低下、原指数は61.1となり前年同月比では18.2%低下した。

鉱工業生産、出荷、在庫（季節調整済、平成12年=100）



内訳を前月比で見ると、電気機械が液晶素子、通信機械器具等の生産減により27.4%の低下、食料品・たばこが2.2%の低下、一般機械が53.7%の上昇、繊維が3.2%の上昇となっている。

在庫指数（季節調整済）は84.0と前月比6.9%の上昇となった。

【青果物卸売量】

鳥取市場の**青果物卸売量**（2月）は、野菜が1,368 t（前年同月比2.1%減）と4か月続いて前年を下回り、果実は767 t（前年同月比1.1%増）と2か月ぶりに前年を上回った。

鳥取市場の青果物卸売量（2月）のうち**鳥取県産の卸売量**は野菜が393 tで全体に占める割合は28.7%（前年同月差0.6ポイント低下）、果実は28 tで全体に占める割合は3.7%（前年同月差0.7ポイント上昇）であった。

【漁獲量】

境港の漁獲量（2月）は、5,072 t（前年同月比10.9%減）と2か月ぶりに前年を下回った。

【電力】

大口需要電力実績（1月）は、137,368 kWh（前年同月比1.2%増）と2か月続いて前年を上回り、鉱工業は全ての業種で増となり1.8%増加した。

○ 雇用・金融面の動き

【雇用】

新規求人倍率（2月）は、1.38倍（前月差0.07ポイント上昇、前年同月差0.16ポイント上昇）であった。なお、新規求人数（2月）は4,440人で前年同月比10.7%の増であった。

有効求人倍率（2月）は、0.81倍（前月差0.02ポイント低下、前年同月差0.05ポイント上昇）と5か月続いて0.8倍を上回り、8年連続で1.0倍を割っている。

【賃金】

現金給与総額（1月）は、261,565円（前年同月比3.6%減）と5か月ぶりに前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与（1月）は、254,763円（前年同月比1.6%増）と6か月続いて前年を上回った。

【労働時間】

所定外労働時間（1月）は、9.6時間（前年同月比2.0%減）と2か月続いて前年を下回った。主力の製造業は2.6%増となった。〔実数による前年同月比では、金融・保険業（前年同月比46.7%増）等で前年を上回り、運輸業（前年同月比41.9%減）等で前年を下回った。〕

【預金・貸出金残高】

預金残高（1月末）は、1兆8,109億円（前年同月比0.7%増）と10か月続いて前年を上回り、**貸出金残高**（1月末）も、1兆1,913億円（前年同月比1.9%増）と5か月続いて前年を上回った。

○ 参考

- ・ **企業倒産**（2月）は、件数が6件で前年同月に比べて4件増加（前年同月比200.0%増）し、負債総額は5億2,700万円で前年同月に比べて5億4,300万円減少（前年同月比50.7%減）した。
- ・ **消費者物価指数**（2月：鳥取市総合 平成12年＝100）は、97.4（前月比0.9%下落、前年同月比1.0%下落）となり、前月比は3か月ぶりに下落し、前年同月比は10か月続いて下落した。
- ・ **鳥取県の企業経営者の見通し**（主要300事業所、年4回調査）を平成18年2月調査で見ると、平成18年4～6月期は、前四半期（平成18年1～3月期）に比べると、景気、売上高はやや好調であるが、経常利益はやや不調の見通しとなっている。
- ・ **鳥取県景気動向指数**（1月）は、先行指数が11月62.5、12月75.0、1月43.8、一致指数が11月62.5、12月75.0、1月75.0、遅行指数が11月66.7、12月83.3、1月80.0となった。

統計情報の検索は、ホームページで簡単にできます。

鳥取県では、統計課以外でも各種の統計を作成し、公表しています。

この統計情報を検索できる統計総合ホームページ「とっとり統計ナビ」を下記のアドレスからご利用ください。

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>